

東北地方 3か月予報

(1月から3月までの天候見通し)

平成24年12月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

1月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

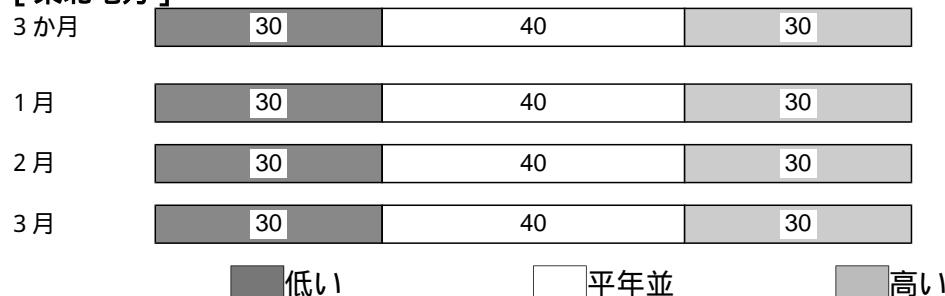
2月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

3月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

<<気温>>

[東北地方]



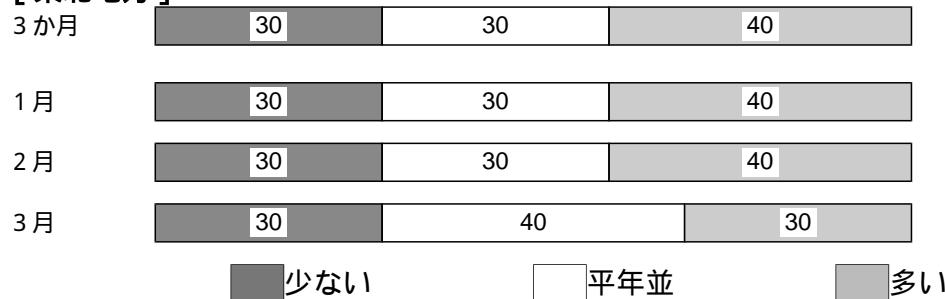
低い

平年並

高い

<<降水量>>

[東北地方]



少ない

平年並

多い

<<降雪量>>

[東北日本海側]

3か月

30

30

40

少ない

平年並

多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は12月28日

3か月予報：1月24日(木) 14時

なお、1月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	1月	2月	3月	1月~3月	1月	2月	3月	1月~3月	1月	2月	3月	1月~3月
青森	-1.2	-0.7	2.4	0.2	144.9	111.0	69.9	325.7	51.3	69.8	130.5	251.6
深浦	-0.2	0.1	2.9	0.9	101.8	78.0	78.0	257.7	26.9	46.5	110.1	184.2
むつ	-1.4	-1.2	1.8	-0.3	103.1	82.9	82.0	268.1	71.6	91.3	146.4	309.3
八戸	-0.9	-0.5	2.7	0.4	42.8	40.1	52.0	134.9	130.8	129.6	168.1	428.6
秋田	0.1	0.5	3.6	1.4	119.2	89.1	96.5	304.7	39.9	62.5	124.7	227.1
盛岡	-1.9	-1.2	2.2	-0.3	53.1	48.7	80.5	182.2	116.9	127.5	160.4	404.8
大船渡	0.8	1.1	3.8	1.9	49.9	45.5	98.0	193.4	142.8	136.9	157.6	437.3
宮古	0.3	0.4	3.3	1.4	60.6	60.1	82.1	202.7	161.0	152.9	178.6	491.8
仙台	1.6	2.0	4.9	2.9	37.0	38.4	68.2	143.7	148.1	151.8	177.0	476.9
石巻	0.7	1.2	4.1	2.0	34.9	35.1	71.1	141.1	165.5	163.1	185.0	513.6
山形	-0.4	0.1	3.5	1.1	83.0	62.7	68.6	214.3	84.8	98.9	140.3	324.1
新庄	-1.1	-0.7	2.2	0.1	208.2	138.9	115.9	463.0	38.5	57.7	111.9	208.1
酒田	1.7	1.9	4.6	2.7	168.1	114.0	106.7	388.8	39.4	59.2	117.2	215.8
福島	1.6	2.2	5.3	3.0	49.4	44.3	75.6	169.3	132.0	142.3	174.2	448.6
若松	-0.6	-0.1	3.3	0.9	95.3	71.4	71.7	238.4	78.5	98.8	138.2	315.5
白河	0.3	0.8	3.9	1.7	38.9	38.5	78.2	155.6	151.2	152.4	176.8	482.5
小名浜	3.8	4.0	6.6	4.8	52.8	58.0	107.5	218.3	189.8	177.9	185.5	553.2

	降雪量(cm)			
	1月	2月	3月	1月~3月
青森	225	176	76	477
深浦	110	92	40	242
むつ	168	143	89	400
八戸	77	75	47	199
秋田	138	108	43	290
盛岡	85	74	46	206
大船渡	19	23	13	55
宮古	33	55	40	128
仙台	21	23	14	58
石巻	14	20	11	45
山形	148	125	57	330
新庄	283	217	126	625
酒田	122	98	35	256
福島	74	57	24	155
若松	171	142	66	379
白河	58	47	27	132
小名浜	-	-	-	-

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。小名浜の降雪量の平年値はありません。

(2) 1981 ~ 2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	1月	2月	3月	1月~3月
気温平年差()	東北地方	-0.3 ~ +0.7	-0.2 ~ +0.4	-0.4 ~ +0.3	-0.2 ~ +0.3
	東北日本海側	-0.3 ~ +0.6	-0.2 ~ +0.5	-0.4 ~ +0.2	-0.3 ~ +0.2
	東北太平洋側	-0.3 ~ +0.7	-0.2 ~ +0.5	-0.4 ~ +0.3	-0.2 ~ +0.3
降水量平年比(%)	東北地方	74 ~ 107	85 ~ 110	89 ~ 116	91 ~ 104
	東北日本海側	88 ~ 109	90 ~ 110	85 ~ 116	94 ~ 103
	東北太平洋側	57 ~ 116	72 ~ 116	82 ~ 115	92 ~ 106
降雪量平年比(%)	東北地方	90 ~ 107	78 ~ 112	81 ~ 119	89 ~ 105
	東北日本海側	94 ~ 111	85 ~ 119	81 ~ 128	85 ~ 113
	東北太平洋側	81 ~ 99	78 ~ 105	64 ~ 113	82 ~ 111

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ~ 2010年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（1～3月）

平成24年12月25日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

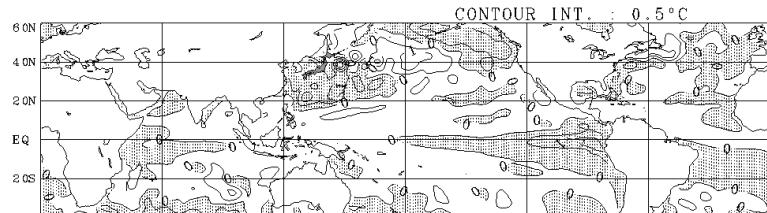
1～3月	
1月	
2月	
3月	

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、インド洋東部から中部太平洋赤道域にかけてでは正偏差、インド洋西部と東部太平洋赤道域では負偏差と予想されている。予報期間中はエルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生せず平常の状態が続く見込み。

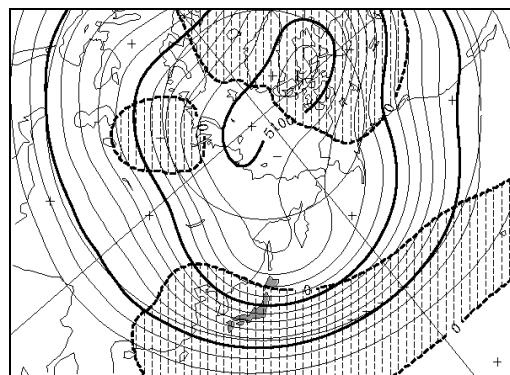
対流活動(図略)は、インドネシア周辺で平年より活発となり、亜熱帯ジェット気流をユーラシア大陸東部で北に蛇行させ、日本付近で南に蛇行させる働きを考えられる。

500hPa高度(中図)は、このジェット気流の蛇行に対応して、ユーラシア大陸東部で正偏差、日本付近で負偏差となる予想。寒気の影響は東日本以西で平年より大きいが、北日本では平年程度の見込み。アリューシヤン低気圧は平年より南寄りでやや強く、冬型の気圧配置は東日本以西でやや強く、北日本で平年程度の見込み。



3か月平均の海面水温偏差の予想図

等高線間隔は 0.5°C。陰影部は負偏差。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

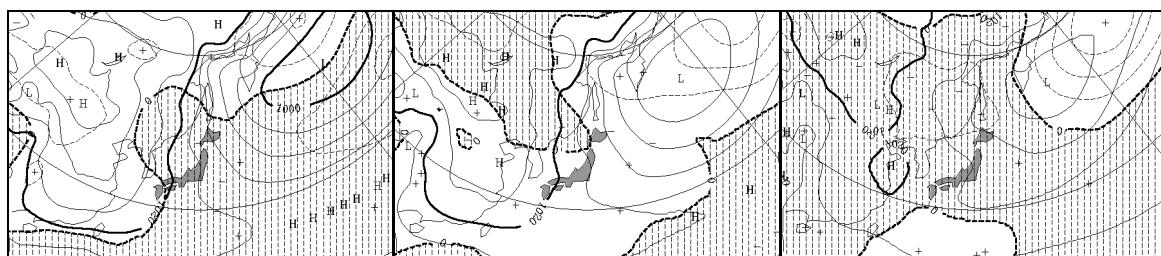
実線は高度(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 30m)。
陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

1月: アリューシヤン低気圧は平年より南寄りでやや強い予想。東日本以西の冬型の気圧配置は平年より強いが、東北地方の冬型の気圧配置は平年程度と考える。また、北日本の負偏差は周囲よりやや大きい予想で、東北地方は低気圧の影響を受けやすく降水量はやや多い傾向と考える。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

2月: アリューシヤン低気圧は平年程度の予想。東北地方の冬型の気圧配置は平年程度と考える。また、大陸から北日本に負偏差がのびる予想。東北地方は低気圧の影響を受けやすく降水量はやや多い傾向と考える。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

3月: 日本付近は広く負偏差に覆われ、日本付近の等圧線の間隔は1月や2月と比べ広くなる予想。日本付近を高気圧と低気圧が交互に通るようになり、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となると考える。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。



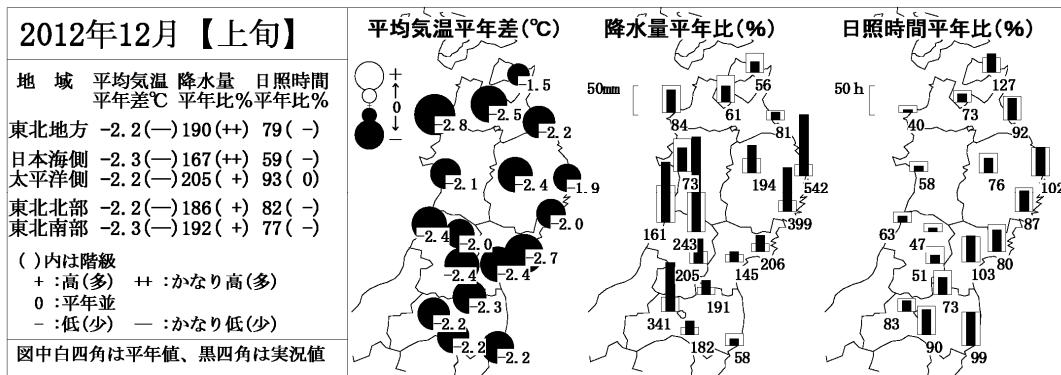
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から1月、2月、3月。実線は海面気圧(間隔 4hPa)、点線は偏差(間隔 1hPa)。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

12月上旬：この期間、短い周期で低気圧や寒冷前線が通過し、通過後は冬型の気圧配置となつた。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では天気は数日の周期で変わつた。期間のはじめと終わりには強い寒気が南下したため、気温はかなり低くなつた。低気圧や寒冷前線の通過に伴い大雨や大雪となつたため、降水量はかなり多くなつた。特に、4日から5日にかけては低気圧の影響で東北太平洋側を中心に大雨となり、岩手県では日降水量が100mmを超えた所があつた。6日から10日にかけては東北日本海側を中心に大雪の所があつた。

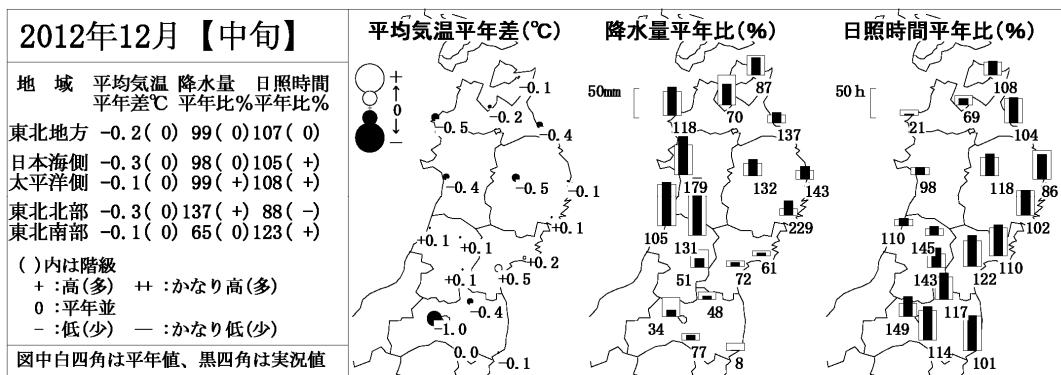
気温はかなり低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



12月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

12月中旬：期間のはじめと終わりは冬型の気圧配置となり寒気が南下した。期間の中頃は高気圧と低気圧が交互に通過し暖気が流入した。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多く、寒暖の変動があつた。11日から12日にかけてと18日から20日にかけては冬型の気圧配置となつたため東北日本海側で大雪の所があつた。

気温は平年並。降水量は、東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で多い。

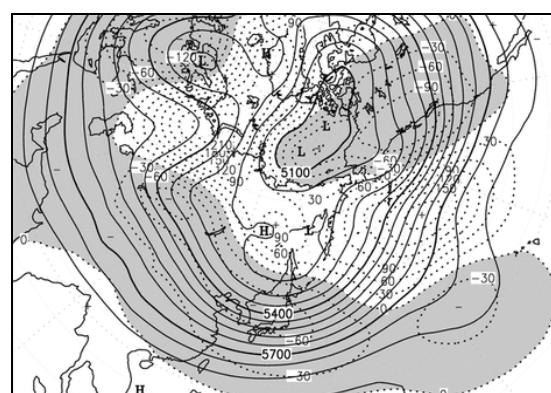


12月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

12月(20日まで)：500hPa高度は、シベリアから北太平洋にかけての高緯度帯が正偏差となり、東シベリアにブロックキング高気圧が形成された。一方、アジアから日本の東にかけての中緯度帯は負偏差となり、日本付近は寒気に覆われた。

東北地方は、冬型の気圧配置の日が多く、強い寒気が南下した時期があつた。



12月1日～20日の平均500hPa高度
実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差。

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
1月	4. 7	22. 3	3. 2	21. 2	15. 3	9. 9	19. 7	5. 3	9. 7	15. 1	17. 3	8. 1
2月	5. 9	18. 8	5. 1	16. 8	15. 6	8. 2	19. 0	5. 0	10. 8	12. 4	17. 6	7. 1
3月	12. 7	13. 9	12. 0	14. 7	17. 6	11. 2	19. 4	7. 2	14. 4	11. 7	19. 2	8. 2

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

お知らせ

平成 25 年の季節予報の発表日について

平成 25 年の季節予報発表日は次のとおりです。

	異常天候 早期警戒情報	1か月予報	3か月予報	暖候期予報	寒候期予報
1月	(注) 原則として 毎週火曜日 と金曜日	毎週金曜日	24日		
2月			25日	25日	
3月			25日		
4月			25日		
5月			23日		
6月			25日		
7月			25日		
8月			22日		
9月			25日	25日	
10月			24日		
11月			25日		
12月			25日		

(注) 異常天候早期警戒情報は、原則として毎週の火曜日と金曜日に、5日先から8日前を最初の日とする7日間平均気温のかなり高いまたはかなり低い確率が30%以上と見込まれる場合に発表します。なお、平成25年においては1月1日(火)と12月31日(火)が休日のため、それぞれ翌日の1月2日(水)と翌年1月1日(水)が発表日となります。

この件に関するお問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係
Tel : 022-297-8110